

キッズコーナー

小学生、中学生に読んでもらいたい記事をおせています。読めない字があったら、おうちの人に教えてもらってね。

私たちの身近な文化財

武蔵野乃一本榎

武蔵野乃一本榎は、小平市仲町に鎮まる熊野宮の社殿の真裏にあり、市の史跡に指定されています。

小平市は現在住宅が建ち並び、人口19万の大きな市となっていますが、かつての市域は川もなく水の便が悪いところで、人家が一軒もない原野でした。そんな原野の中にそびえ立っていたこの榎は、遠くからもよく見え、近隣の村人たちから「一本榎」として親しまれていました。

熊野宮や地元の言い伝えによると、この榎は小平市の発祥となる小川村の開発(明暦2年・1656年)以前からあり、その高さは群を抜いており、榎から1kmほども離れた鎌倉街道(現在のJR武蔵野線新小平駅の西)からも見ることができたそうです。

また、江戸時代に記された『新編武蔵国風土記稿』という武蔵国(現在の東京都・埼玉県・神奈川県の一部)にあった村々の地理風土について記した書物には、「(小川新田)熊野社・・・社の後に榎の大樹あり、この村開発の以前は茫茫たる原野なれば、近村の民等秣かりに出たるも、この木を標となして往来をなせしよし」とあり、小川新田(今の仲町・喜平町・学園西町・学園東町・上水新町・上水本町の一部)の開拓(享保7年・1722年)以前は、この辺りは草がぼうぼうの原野で、近くの村の人々は、飼葉や畑の肥やしに使うまぐさ(この土地では主にスキの一種を用いた)をここに刈り取りに来るときに、この榎を目印にしていたと記されています。

こうした言い伝えや古い記録から、江戸時代当時すでにここに榎の大木が生えていて、遠方からもよく見え、道しるべとされていたことがわかります。青梅街道の道沿いにある、東の田無村(現西東京市)や西の箱根ヶ崎村(現瑞穂町)から小平方面へ行き来する旅人たちも、きっと一本榎の大きな姿を目にしたことでしょう。言い伝えでは、榎の枝は四方へ広大に広がり、木陰は差し渡したし百数十間(約270m)もの広さとなり、真夏の炎天下でも絶えず涼風が吹いていたとのことで、旅人もここで休息をとっていたそうです。



(現在の一本榎)

またこの榎は、熊野宮の建立場所の選定にも大きくかかわりました。小川村開拓名主小川九郎兵衛の出身地である、岸村(今の武蔵村山市の一部)のあった村山村(当時)の延喜式(927年ごろ成立)内社阿豆佐味天神社神主だった宮崎主馬は、のちに小川新田となる一本榎一帯の新田開発に先立ち、宝永元年(1704年)に阿豆佐味天神社の摂社である熊野宮の社を鎮守(村を見守る神社)としてこの榎の側に祠を建てて移し、それが現在の仲町にある熊野宮のはじまりとなりました。

一本榎はその後、寛保年間(1741~1744年)ごろに枯れてしまい、2代目の榎は幹回り約210cmの大木に成長しましたが、大正3(1920)年9月の暴風雨により倒れてしまいました。現在、熊野宮にある一本榎は、3代目の榎となります。現在、榎の周りは都市化が進み、住宅が建ち並びようになりました。この榎は樹齢100年弱のため、まだ樹高は低く、昔と比べると目立たなくなっていますが、いまでもこの地に枝を広げ、小平市を見守っています。

本との新しい出会いを

「本の福袋」

毎年好評いただいている本の福袋を、今年も貸し出します。どんな本が入っているかは、借りてからの楽しみです。

とき 12月19日(土)から ※無くなり次第終了。

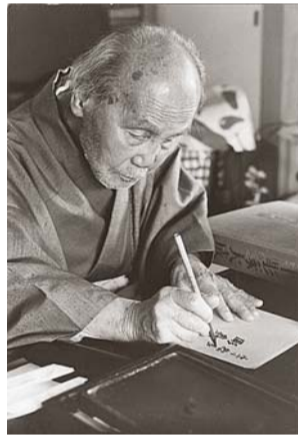
ところ 市内図書館・分室全館

内容 対象年齢別に貸し出します。子ども向け(0~2歳児、3~6歳児、小学1・2年生、小学3・4年生、小学5・6年生、中学・高校生)、大人向け

※図書館利用カードの登録が必要です(利用停止の方は不可)。本の福袋の本も貸し出し冊数に含みません。



問合せ 中央図書館 ☎042(345)1246



をもって収集した「硯」や「墨」をはじめとした書道具のコレクションをご紹介します。

とき 2月14日(日)まで

開館時間 午前10時~午後4時 ※なるべく午後3時30分までに入館してください。
休館日 火曜日、年末年始(令和2年12月27日(日)~令和3年1月5日(火))
観覧料 一般...300円、小・中学生...150円 ※駐車場をご利用の方はご相談ください。
問合せ 平櫛田中彫刻美術館 ☎042(341)0098

小平市 平櫛田中彫刻美術館
KODAIRA HIRAKUSHI DENCHU ART MUSEUM

企画展示

「文房四宝-平櫛田中書道具コレクション」

書道の必需品である筆、墨、硯、紙のことを「文房四宝」と言います。平櫛田中は書の作品制作のかたわら、様々な書道具を収集して楽しみました。展覧会では、平櫛田中の書の作品とともに、田中が並々ならぬこだわり



(河緑石蘭亭硯)



新収蔵作品 初公開
(夕月)

今年も「なかまちテラス」にイルミネーションが点灯しました

職業能力開発総合大学校の協力のもと、今年もなかまちテラスにイルミネーションが点灯しました。今年はこのイルミネーションが仲町を越え、遥か遠くまで届くようにという思いなどを込め「遥」になりました。来年2月末頃まで、午後5時から午後10時まで点灯しています(第3木曜日と年末年始を除く)。



~イルミネーションでつながる地域の輪~
なかまちテラス × 地域 × 学生

「第3回なかまちテラスティーンズ委員会大賞」が決定しました

大賞 「きみの存在を意識する」

梨屋アリエ 著
ポプラ社

今年度も、なかまちテラスティーンズ委員会は、10代が薦める10代にぜひ読んでほしい本「なかまちテラスティーンズ委員会大賞」を決定しました。今年度は、3つの候補作品の中から、市内の中学生・高校生による投票により決定しました。

大賞とならなかった作品も含め素晴らしい内容の本ばかりですので、ぜひ一度読んでみてください。

